

2007年度第10回教育研究審議会議事要録

日 時 2007年10月11日(木) 15時5分～16時45分
場 所 学術センター3階会議室
出席者 坂本学長、米田理事、植田理事、古田理事、森教授、濱田教授、
下田教授、道盛教授、中嶋准教授、丹下教授、西戸准教授、加来准教授、
関野准教授、久保園監事

配布資料 1. 英語実習・英語担当教員の募集
2. キャリア教育科目の概要について
3. 下関市立大学附属地域共創センター開設案

議題及び審議状況

議題1 教員採用方針について

資料1に基づき、坂本学長が説明を行い、原案通り承認された。また、教授会で異論がなければそのまま採用手続きについて付託することを確認した。

議題2 キャリア教育について

資料2に基づき、金子就職委員長が説明を行った。

- ・ 登録必修で4クラスを想定しているが、専門科目とバッティングしないでやっていけないか。また、4クラスではなく2クラスでは対応できないか。
- ・ 総単位数はそのままでよいか。
- ・ 他の科目の受講が制限されるとしても、このキャリア教育は重要である。
- ・ 学生が履修する状況をシミュレーションする必要がある。
- ・ キャリア教育の重要性について合意がなければ、実施は難しい。
- ・ キャリア教育で科目群ができれば、外に対しアピールができる。
- ・ キャリア教育は集中講義になじまない。1週ごとに行い、毎回レポート出すなど、双方向のやり取りが必要である。
- ・ 再度検討を行い、次回の審議会に提案することとした。

議題3 地域共創センターの設置について

資料3に基づき、道盛教授が説明を行い、原案通り承認された。この件については、教授会にも意見を聴くこととした。

- ・ 市の公文書を引き受けて文書の保管をすることを今後も市と交渉していく必要がある(アーカイヴ部門)。
- ・ 研究所機能は維持する方向で検討して欲しい。
- ・ コーディネーターの負担は重くなるのではないか。

報告1 教員採用方針について

坂本学長が、第10回審議分について、教授会で承認され、手続きを進めていることを報告した。

その他

- ・ 11月14日に鯨資料室のオープニングセレモニーを行う。
- ・ 次回は、11月8日 13時10分から開催予定